様式第2号(第2条関係)

報告・評価シート

1 基本情報

設置主体	名称	株式会社いぶき	報告日	令和7年 1月 31日
	所在地	宇部市妻崎開作 1014-3		
事業所	名称	ウィズライフ創	評価日	年 月 日
	所在地	宇部市妻崎開作 1014-3		

事業所の運営方針	事業所は、常時の支援体制を確保することにより、利用者が地域において、家庭的な環境及び地域住民との交流の下で自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、当該利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において、相談、入浴、排せつ又は食事の介護、その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行うものとする。 事業の実施に当たっては、関係市町、指定一般及び特定相談支援事業者、他の指定障害福祉サービス事業者その他の保健医療サービス及び福祉サービスを提供する者との密接な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする
事業内容	事業所開設日 令和 2年 2月 1 日 利用者定員 19 名（利用者 19 名 ）・短期入所定員 1 名 （利用者 1 名 ）

利用者概況	障害種別	身体 3 名	知的 14 名	精神 4 名	難病 1 名	※重複する場合はそれぞれに記載
	支援区分	区分3 2名、区分4 4名、区分5 6名、区分6 7名				
	日中の状況	主にグループホームで日中を過ごす方 17 名				
人員配置	日中	世話人 10 人(常勤換算 6.6 人)		生活支援員 9 人(常勤換算 4.3 人)		看護師 2 人(常勤換算 2.0 人)
	夜間	世話人 人		生活支援員 人		その他(夜間支援従事者) 7 人 常勤換算 3.0 人

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	評価の視点	【協議会記入欄】 要望, 助言, 評価
<p>支援体制の確保と支援の実施</p> <p>・日中サービスの提供内容や、他の日中活動サービスの利用状況、外出や余暇活動等の社会生活上の支援、相談支援事業所や他のサービス事業所等との連携等について</p>	<p>A ユニット 9 名【区分 3:1 名・区分 4:1 名・区分 5:5 名・区分 6:2 名+短期入所 1 名</p> <p>生活支援員:基準配置 84 時間/週に対して 84 時間/週配置</p> <p>世話人:基準配置時間 72 時間/週に対して 80 時間/週配置</p> <p>加配の世話人:基準配置時間 43 時間/週に対して 43 時間/週配置</p> <p>B ユニット 10 名【区分 3:1 名・区分 4:3 名・区分 5:1 名・区分 6:5 名】</p> <p>生活支援員:基準配置 88 時間/週に対して 88 時間配置</p> <p>世話人:基準配置 68 時間/週に対して 68 時間/週配置</p> <p>加配の世話人:基準配置時間 68 時間/週に対して 68 時間/週配置</p> <p>上記に加え各ユニットごとに夜間支援従事者を配置し 24 時間 365 日切れ目のない支援を提供できる人員を配置している。</p> <p>・入居者 19 名中区分 5・6 の利用者が 13 名、60 代以上の利用者が 3 名</p> <p>・現入居利用者 17 名が生活介護、2 名が就労継続支援 B 型を利用。および 9 割が訪問看護を利用している。外部のサービスが利用できない日の支援及び活動については、グループホーム内において 24 時間の相談、健康管理、入浴、排せつ、食事の介護、その他の日常生活上の支援、レクリエーションの実施といった日中サービスを提供している。</p> <p>・担当相談支援専門員及び日中活動のサービス管理責任者等と連携し、利用者の希望に応じ、サービスの見直しを常に図っている。令和 6 年度は、年度途中での新規入所者が 1 名加わった。</p> <p>・外出や余暇活動として以下を実施している。</p> <p>イベントの実施(誕生日会・花見・流しそうめん・花火・果物狩り・クリスマス会・餅つき等季節に応じて企画している)</p> <p>外出支援 2 回/週(公園、施設周辺の散策、イベントや祭りへの参加等)</p> <p>移動販売車(クレープ販売車 2 か月に 1 回、パン屋月 1 回)</p>	<p>日中、土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。</p>	
		<p>重度化・高齢化等のニーズに対応しているか。</p>	
		<p>利用者の意向に反して日中サービス等の利用が制限されていないか。</p> <p>適切なサービスの利用が図られるよう他の事業所等との連携が図られているか。</p>	
<p>利用者が充実した地域生活を送るため、外出や余暇活動等の支援に努めているか。</p>			

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	評価の視点	【協議会記入欄】 要望, 助言, 評価
<p>地域に開かれた運営</p> <p>・家族や地域住民との交流等について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の方々への活動報告や広報活動として、月に1度開催されている民生委員の会合に参加している。本年度は同会において不要衣類の収集を呼びかけ、たくさんのご寄付をいただき衣服としての提供や手芸資材やウエス材料として活用できた。また、昨年度同様、近隣の方が栽培している畑の作物の収穫体験を提案され参加することができた。 ・本年度は付近の散歩をする際にごみ拾いを行い、ご近隣の方からよくお声掛けをいただいている。 ・本年度は企業様が管理されている野球グラウンドを日中帯に自由に利用させていただけることになり、全事業所が集まり運動会の開催を行った。ご家族も参加していただき、ご家族が作ってきたお弁当と一緒に食べるなど家族との交流の機会も提供することができた。 ・本年度3月には、来年度から義務される地域連携推進会議の1回目開催を予定し、準備を進めている。 	<p>地域住民との交流の機会が確保されているか。</p> <p>家族との交流の機会が確保されているか。</p>	
<p>短期入所の併設</p> <p>・利用状況や緊急時の受け入れの状況等について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・併設の生活介護を利用しながら将来的なグループホーム利用を検討している利用者の定期利用や、突発的な利用ニーズに対しても可能な限り情報収集し、緊急の職員ミーティングを行い対応している。 <p><緊急対応の事例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族が海外へ旅行するため ・家族の帰省に伴い他害行為が懸念されるための入所(30台半ば男性) <p>通常の利用3名 緊急的利用2名</p>	<p>地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。</p> <p>緊急的利用のニーズに対応しているか。</p>	

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	評価の視点	【協議会記入欄】 要望, 助言, 評価
職員の資質向上への取り組み ・参加した研修や取得した資格等について	・委員会活動(虐待防止・環境衛生・事故防止・防災・感染症対策)を月に一度実施し、参加メンバーで協議した内容を職員に対して周知している。 ・社外やオンラインで実施された研修に参加した職員は、研修内容を伝達する目的で社内研修を実施している。 ・動画を用いた障害者支援に関する研修を実施(毎月1テーマ)。 ・資格取得にかかる費用を全額補助している。 介護福祉士試験2名 実務者研修1名 サービス管理責任者実践研修1名	支援の質の確保に努めているか。(資格取得、研修等)	
その他 ・事業所独自の取り組み等について	・昨年度作成したBCPに基づき、防火訓練を実施、引き続き避難訓練や感染症対策訓練を実施していく。 ・がんの診断を受けた方、余命宣告を受けた方などの緊急的な受け入れを行った。今後も人道的配慮を行いつつニーズに応じた支援を展開していく。 ・重度化、高齢化に対応することだけでなく、利用者の希望や強みを活かしてステップアップできるよう通過型のグループホームとしての機能を意識している。グループ内に相談支援事業所・就労継続支援事業所、外部サービス利用型グループホームや生活支援付き住宅を併設しており、さらに地域生活体験事業を行っている。この強みを生かし本人の力を生かした地域生活をバックアップしている。		
協議会からの要望、助言への対応(2回目以降) ・要望・助言の内容及びその対応について	利用者が地域で充実した生活を送るため積極的な支援を提供していくことを期待されているものと理解している。 引き続きその期待に応え、利用者や地域への貢献に努めて参りたい。	要望、助言に誠実に対応しているか。	